

劇場版

ドキュメンタリー映画

# センキョナンデス

選挙は最高のお祭りだ！のほが...



エグゼクティブプロデューサー 平野悠 加藤梅造 / プロデューサー 大島新 前田亜紀 / 音楽 The Bassons (ベースンズ) / 監督補 宮原豊 / 撮影 LOFT PROJECT / 編集 船木光 / 音響効果 中嶋尊史 / 宣伝 Playtime / 配給協力 ホレボレ東中野 / 配給 ネットゲン

2023年 / 日本 / ドキュメンタリー映画 / 109分 / ©「劇場版 センキョナンデス」製作委員会

監督・出演 ダースレイダー × プチ鹿島



# 野次馬のつもりだったラッパーと芸人が、安倍元首相銃撃事件の日の選挙戦を記録。

選挙とは何か、民主主義とは何か、ジャーナリズムとは何かを問うロードムービー。

ロンドンで育ち海外メディアの情報に精通するラッパーのダースレイダー(東大中退!)と、新聞14紙を毎日読み比べしている時事芸人のプチ鹿島(ニュース時事能力検定1級!)。この異色のコンビが毎週配信するYouTube番組『ヒルカラナデス(仮)』は、二人の絶妙な掛け合いが人気を博し、全国に「ヒルマニア」というコアなファン層を生み出している。二人が番組のスピノフとして立ち上げたのが選挙取材企画。2021年の衆院選、2022年の参院選、合計十数人の候補者に突撃取材を敢行した。ドキュメンタリーのお作法などお構いなし、自ら

も喋りまくり聞きたいことをズケズケ聞いて、相手から思わぬ本音を引き出していくラッパーと芸人。二人の問題意識は、ジャーナリズムにも向けられる。とりわけ自他ともに認める「新聞読みのプロ」であるプチ鹿島には、どうしてもその姿勢を問い質したい新聞社があった。香川県の四国新聞だ。本社に乗り込み、ド正論という刃を突き付ける鹿島vs四国新聞のバトルが始まった。選挙は祭り!参院選でもヒリヒリする現場を取材しようと二人は大阪に乗り込んだ。その取材の真っ最中に起こった安倍元首相の銃撃事件。ドキュメンタリーは想定外の

方向に展開していく。街頭演説を取り止める候補者、敢えて行う者、対応が分かれるなか、ある候補者の取材中に安倍氏の死を知る。事件の真相が分からぬままネット上に飛び交う無責任な言説を憂い、民主主義とは何かという問いへの答えを探す旅となっていく……。

二人の活動を知り「日本のマイケル・ムーアになり得る!」と絶賛した『なぜ君は総理大臣になれないのか』の大島新が、本作にプロデューサーとして参戦。異色のコラボによって、破天荒なドキュメンタリー映画が誕生した。

**祭囃子** が聞こえてくる。祭りには人を誘いの危機が世界中で指摘される中、まだそのエネルギーが感じられる祭りが選挙だ。ラッパーと芸人がこのエネルギーの正体を探しにく。さあ、祭りの準備だ!



**「選挙」** と聞くと身構える方はいませんか?そんな人にもぜひ観てほしいです。いま起きていることを皆でわいわい共有するのが時事ネタの楽しさなら、この映画はその象徴です。自分なりの視点を持ってさらに面白くなります。劇場で確認して下さい。「一票」をお願いします。

## ダースレイダー ラッパー

2000年にMICADELICのメンバーとして本格デビュー。2010年、脳梗塞で倒れ、さらに合併症で左目を失明するも、眼帯をトレードマークに復帰。現在はThe Bassonsのボーカルの他、各界の言論人との配信番組に多数出演。著書に『武器としてのヒップホップ』(幻冬舎)などがある。

## プチ鹿島 時事芸人

新聞14紙を読み比べ、スポーツ、文化、政治と幅広いジャンルからニュースを読み解く。最新著作に「ヤラセと情熱 水曜スペシャル「川口浩探検隊」の真実」(双葉社)。コラム連載は月間17本。TBS-R「東京ポッド許可局」YBS-R「キックス」などのレギュラー番組を持つ。

## 大島新 (本作プロデューサー)

「こんなものはドキュメンタリーじゃない!」そんな声が聞こえてきそうだが、それもまたよし。だって二人は、これまで誰もやっていないことに挑んでいるのだから。この型破りな挑戦をサポートできることが、私は最高にうれしい。

公式 Twitter

@senkyonandesu

公式サイト

senkyonandesu.com

